

液状化による**宅地**の被害の復旧を支援します

令和6年能登半島地震

柏崎市液状化被災宅地復旧支援事業

申請書・報告書の作り方ガイド

受付開始 令和6(2024)年10月1日から

相談および申請の窓口

柏崎市役所 4階(柏崎市日石町2番1号)

受付時間 毎日(土日祝を除く) 午前8時30分から午後5時00分まで

都市整備部 都市計画課 街路公園係 電話0257-21-2298(課直通)

事業の内容や申請書類が市のホームページからダウンロードできます。



「柏崎市液状化被災宅地復旧支援事業」で検索

申請書・報告書の作り方ガイド

- ・主な申請書・報告書類の作り方を解説しています。
- ・本書に加え、「柏崎市液状化被災宅地復旧支援事業ご利用の手引き」8～11 ページに記載の『必要書類』をご覧ください、申請などに必要な書類をご用意ください。
- ・なお、ここに載っていない手続き(変更交付申請など)は、表紙に記載した相談・申請窓口までお問い合わせください。

■ これから工事する方、工事実施中の方、 工事が完了したが支払い前の方はこちら↓

①最初に補助金を申し込むとき	ページ
ア) 1-1 補助金交付申請書	2 ~ 5
イ) 1-2 事業概要・補助金額算定書	6 ~ 9
(参考) 見積書の見方	10 ~ 11
ウ) 1-3 液状化被災状況説明報告書	12 ~ 13
②工事が完了し、補助金の振込みを受けるとき	ページ
エ) 2-1 実績報告書	14 ~ 15
オ) 1-2 事業概要・補助金額算定書	6 ~ 9

■ 工事が完了し、支払済みの方はこちら↓

①補助金を申し込むとき(実績報告書も一緒に提出)	ページ
カ) 3 補助金交付申請書兼実績報告書	16 ~ 19
キ) 1-2 事業概要・補助金額算定書	6 ~ 9
ケ) 1-3 液状化被災状況説明報告書	12 ~ 13

1-1 補助金交付申請書 → 目次 ア)

別記
第1号様式（第5条関係）

(記載例)

柏崎市長 様

① 令和 6 年 10 月 1 日

(申請者) 〒 945-0000
住所 柏崎市日石町〇番〇号
フリガナ カシワザキ タロウ
氏名 柏 崎 太 郎
電話番号 0257-〇〇-〇〇〇〇

②

柏崎市液状化被災宅地復旧支援事業 補助金交付申請書

柏崎市液状化被災宅地復旧支援事業補助金の交付を受けたいので、次のとおり申請します。なお、本申請書及び添付書類に記載の事項は事実と相違ありません。

③	罹災証明書から転記	罹災番号	123456		
		世帯主氏名	<input checked="" type="checkbox"/> 申請者と同じ <input type="checkbox"/> 申請者と異なる → (氏名)		
		被災住家所在地	柏崎市日石町〇番〇号		
		住家の被害の程度	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 半壊	<input checked="" type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 準半壊	<input type="checkbox"/> 中規模半壊 <input type="checkbox"/> 一部損壊
		被災物件の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 専用住宅	<input type="checkbox"/> 併用住宅（店舗、事務所などを併設）	
④	被災住宅の建て方	<input checked="" type="checkbox"/> 戸建住宅 <input type="checkbox"/> 分譲マンション	<input type="checkbox"/> 多世帯住宅 <input type="checkbox"/> 長屋		
⑤	申請者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 被災住宅（分譲マンションを除く）の居住者 <input type="checkbox"/> 被災住宅（分譲マンションを除く）の居住者の扶養義務者等 <input type="checkbox"/> 被災宅地の所有者 <input type="checkbox"/> 被災住宅（分譲マンション）の管理組合等			
⑥	被災宅地の所有者	<input checked="" type="checkbox"/> 申請者と同じ (住所) <input type="checkbox"/> 申請者と異なる → (氏名)			
⑦	予定工事期間	着手予定日： 令和 6 年 11 月 1 日 完了予定日： 令和 7 年 3 月 1 日			
⑧	補助対象要件に関する確認	<input checked="" type="checkbox"/> 被災住宅は賃貸住宅又は企業の寮・社宅等ではありません。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 被災宅地等は令和6年能登半島地震により液状化による被害を受けました。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 過去に本補助金を受けた被災宅地等ではありません。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 申請内容は、要綱に定める各条項に適合します。			
⑨	確認事項	<input checked="" type="checkbox"/> 本人及びその世帯に暴力団員又は暴力団等と関係を有する者はいません。また、必要に応じて、市が警察に照会する場合は、別途必要な書類を提出します。			
⑨	補助金申請額	795,000 円			

書き方の解説

① 提出年月日

・書類を市に提出する日付を記載してください。

② 申請者

- ・申請者(補助金の交付を受けようとする方)の郵便番号、住所、氏名、フリガナ(カタカナで記載)、電話番号を記載してください。
- ・被災したお住まいから一時的に避難している場合は、避難先である現住所をご記載ください(郵送など書類が受け取れる宛先となります)。

③ リ災番号など

以下を参考に、リ災証明書から転記してください。

り災証明書

123456 令和〇年〇月〇日	
世帯主住所	新潟県柏崎市日石町〇番〇号
世帯主氏名	柏崎 太郎
追加記載事項①	被災者区分：物件居住者
被災住家の所在地	<p>世帯主氏名 →申請する方と世帯主が異なる場合は、「申請者と異なる」の口を黒塗りし、この欄の世帯主氏名を転記してください。</p>
罹災原因	令和6年(2024年)石川県能登地震 による
被災住家*の所在地	柏崎市日石町〇番〇号
住家*の被害の程度	大規模半壊
追加記載事項②	被災物件種別：専用住宅
追加記載事項③	

※住家とは、現実に居住(世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。)のために使用している建物のこと。
(被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家)

被災物件の種別

上記のとおり、相違ないことを証明します。

令和〇年〇月〇日

柏崎市長 櫻井 雅浩 

1-1 補助金交付申請書（つづき）

別記
第1号様式（第5条関係）

（記載例）

① 令和 6 年 10 月 1 日

柏崎市長 様

（申請者）

〒 945-0000

②

住所

柏崎市日石町○番○号

フリガナ

カシワザキ タロウ

氏名

柏 崎 太 郎

電話番号

0257-〇〇-〇〇〇〇

柏崎市液状化被災宅地復旧支援事業 補助金交付申請書

柏崎市液状化被災宅地復旧支援事業補助金の交付を受けたいので、次のとおり申請します。なお、本申請書及び添付書類に記載の事項は事実と相違ありません。

③	罹災証明書から転記	罹災番号	123456		
		世帯主氏名	<input checked="" type="checkbox"/> 申請者と同じ <input type="checkbox"/> 申請者と異なる → (氏名)		
		被災住家所在地	柏崎市日石町○番○号		
		住家の被害の程度	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 半壊	<input checked="" type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 準半壊	<input type="checkbox"/> 中規模半壊 <input type="checkbox"/> 一部損壊
		被災物件の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 専用住宅 <input type="checkbox"/> 併用住宅（店舗、事務所などを併設）		
④		被災住宅の建て方	<input checked="" type="checkbox"/> 戸建住宅 <input type="checkbox"/> 多世帯住宅 <input type="checkbox"/> 分譲マンション	<input type="checkbox"/> 長屋	
⑤		申請者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 被災住宅（分譲マンションを除く）の居住者 <input type="checkbox"/> 被災住宅（分譲マンションを除く）の居住者の扶養義務者等 <input type="checkbox"/> 被災宅地の所有者 <input type="checkbox"/> 被災住宅（分譲マンション）の管理組合等		
⑥		被災宅地の所有者	<input checked="" type="checkbox"/> 申請者と同じ (住所) <input type="checkbox"/> 申請者と異なる → (氏名)		
⑦		予定工事期間	着手予定日： 令和 6 年 11 月 1 日 完了予定日： 令和 7 年 3 月 1 日		
⑧	補助対象要件に関する確認		<input checked="" type="checkbox"/> 被災住宅は賃貸住宅又は企業の寮・社宅等ではありません。		
			<input checked="" type="checkbox"/> 被災宅地等は令和6年能登半島地震により液状化による被害を受けました。		
			<input checked="" type="checkbox"/> 過去に本補助金を受けた被災宅地等ではありません。		
			<input checked="" type="checkbox"/> 申請内容は、要綱に定める各条項に適合します。		
	確認事項	<input checked="" type="checkbox"/> 本人及びその世帯に暴力団員又は暴力団等と関係を有する者はいません。また、必要に応じて、市が警察に照会する場合は、別途必要な書類を提出します。			
⑨		補助金申請額	795,000 円		

書き方の解説

④	被災住宅の建て方 ・手引き2ページ(本支援制度における住宅の定義のア・ウ・エ・オ)を参照し、該当するものの口を黒塗りしてください。
⑤	申請者の区分 ・手引き2ページ(申請の要件②対象となる者)を参照し、該当するものの口を黒塗りしてください。
⑥	被災宅地の所有者 ・申請される方と宅地(土地)の所有者が異なる場合は、その所有者の方の住所・氏名を記載してください。またその場合、添付書類として、その土地を所有する方の同意書が必要となります。
⑦	予定工事期間 ・工事の予定期間を記載してください。 ・既に着手したもの・完了したものは、それぞれその日付を記載してください。
⑧	補助対象要件に関する確認・確認事項 ・本補助金の対象となる条件のうち主要なものを記載しています。 ・ひとつでも適合しないものがある場合は、補助金の対象になりません。
⑨	補助金申請額 ・手引き5ページ及び本書9ページ(1-2. 事業概要・補助金額算定書⑨【H】)を参照し、算出した補助金申請額を記載してください。

1-2 事業概要・補助金額算定書 → 目次 イ)、カ)、ク)

第2号様式 (第5条、第8条、第10条、附則第3項関係)

柏崎市液状化被災宅地復旧支援事業 事業概要・補助金額算定書

1 事業計画・実績

① (1) 工事費全体			
①	工事費 (税込) 【A】		3,630,000 円 (税込)
	うち共通費・諸経費・値引き等 【B】		495,000 円 (税込)
	A-B 【C】		3,135,000 円 (税込)
② (2) 補助対象工事			
	項目	内容	工事費
	<input type="checkbox"/> のり面復旧工事	補助対象とならない、 壁紙の補修工事 (¥110,000税込) を同時に実施する予定	円 (税込)
	<input type="checkbox"/> 擁壁の復旧工事		円 (税込)
	② <input checked="" type="checkbox"/> 地盤の復旧工事	③ 地盤沈下復旧 沈下部分を埋戻し地盤を元の高さに戻す	④ 605,000 円 (税込)
	<input type="checkbox"/> 地盤改良工事		円 (税込)
	<input checked="" type="checkbox"/> 基礎の沈下・傾斜修復工事	ジャッキアップ 沈下部分をジャッキアップし傾斜を修復する	2,420,000 円 (税込)
	⑤ 小計 【D】		3,025,000 円 (税込)
	⑥ 上記に係る共通費・諸経費・値引き等 (B×D/C) 【E】		477,632 円 (税込)
		補助対象実額 計 (D+E) 【F】	3,502,632 円 (税込)

2 被災住宅関連支援事業等に係る補助金等の額			
⑦	<input type="checkbox"/> 災害救助法に規定する住宅の応急修理(国制度)の額【ア】	706,000 円	⑧
		アが50万円以下の場合: 「0」 アが50万円超の場合: ア-50万円 【イ】	206,000 円
	<input type="checkbox"/> 新潟県被災者住宅応急修理支援制度に基づく住宅の応急修理 (県制度) 【ウ】		1,000,000 円
		他の補助金等の合計 (イ+ウ) 【G】	1,206,000 円

3 補助金申請額・算定額			
補助対象実額 (F)		他の補助金等の額 (G)	
⑨ (3,502,632) 円 - 500,000円) × 2/3 - (1,206,000) 円 =		795,755 円	
※上限1,200万円		補助金申請額・算定額 (H) = 795,000 円	
		(千円未満切り捨て)	

書き方の解説

【注意事項】

- ★本書は補助金の額を算出する重要な書類です。手引き5ページの算定要件を確認し、記載誤りや計算間違いなどが無いよう十分ご注意ください。
- ★工事を複数の契約に分けて実施する場合、この書類は、契約ごとに作成してください。その場合、①から⑥までは契約(見積書)ごとに1枚とし、⑦から⑨までは、どれか1枚に全契約分をまとめてご記載ください。
- ★計算方法や、実施する工事が補助の対象となるかどうかなど、ご不明な点があれば、必要に応じて、相談・申請窓口に見積書をご提示しご相談ください。(ただし、見積書の記載の仕方(詳細が明らかでない書き方など)により、窓口でも判断できない場合があります。)

①	<p>工事費(税込)【A】</p> <ul style="list-style-type: none">・見積書の総額(税込み工事費)を記載してください。 <p>うち共通費・諸経費・値引きなど【B】</p> <ul style="list-style-type: none">・見積書から、「共通費」「諸経費」「値引き」などとして計上されているものの金額の合計を記載してください。 <p>A - B【C】</p> <ul style="list-style-type: none">・式(A-B)のとおり計算した金額を記載してください。
②	<p>補助対象工事の項目</p> <ul style="list-style-type: none">・補助対象工事として実施するものの口を黒塗りしてください。・補助対象となるもの、ならないものの代表例や考え方は、別冊《手引き(4ページ)》をご覧ください。
③	<p>補助対象工事の内容</p> <ul style="list-style-type: none">・②で黒塗りした工事について、その工事の内容を記載してください。・工事の専門用語ではなく、『どのような被害に対して』『どのような方法で復旧するか』を簡潔にご記載ください。
④	<p>補助対象工事の工事費</p> <ul style="list-style-type: none">・②で黒塗りした工事の費用(補助対象となる工事金額)について、見積書から抜き出し、合計額を記載してください。・見積書の見方の例は10～11ページをご覧ください。・補助対象内外は別冊《手引き(4ページ)》をご覧ください。
⑤	<p>小計【D】</p> <ul style="list-style-type: none">・④工事費の欄を合計した値を記載してください。

1-2 事業概要・補助金額算定書(つづき)

第2号様式 (第5条、第8条、第10条、附則第3項関係)

柏崎市液状化被災宅地復旧支援事業 事業概要・補助金額算定書

1 事業計画・実績

(1) 工事費全体			
①	工事費(税込)【A】	3,630,000 円(税込)	
	うち共通費・諸経費・値引き等【B】	495,000 円(税込)	
	A-B【C】	3,135,000 円(税込)	
(2) 補助対象工事			
	項目	内容	工事費
	<input type="checkbox"/> のり面復旧工事	補助対象とならない、 壁紙の補修工事(¥110,000税込)を同時に実施する予定	円(税込)
	<input type="checkbox"/> 擁壁の復旧工事		円(税込)
	<input checked="" type="checkbox"/> 地盤の復旧工事	地盤沈下復旧 沈下部分を埋戻し地盤を元の高さに戻す	605,000 円(税込)
	<input type="checkbox"/> 地盤改良工事		円(税込)
	<input checked="" type="checkbox"/> 基礎の沈下・傾斜修復工事	ジャッキアップ 沈下部分をジャッキアップし傾斜を修復する	2,420,000 円(税込)
⑤	小計【D】		3,025,000 円(税込)
⑥	上記に係る共通費・諸経費・値引き等 (B×D/C)【E】		477,632 円(税込)
	補助対象実額 計 (D+E)【F】		3,502,632 円(税込)

2 被災住宅関連支援事業等に係る補助金等の額				
⑦	<input type="checkbox"/>	災害救助法に規定する住宅の応急修理(国制度)の額【ア】	706,000 円	⑧
		アが50万円以下の場合:「0」 アが50万円超の場合:ア-50万円【イ】		206,000 円
	<input type="checkbox"/>	新潟県被災者住宅応急修理支援制度に基づく住宅の応急修理(県制度)【ウ】		1,000,000 円
		他の補助金等の合計(イ+ウ)【G】		1,206,000 円

3 補助金申請額・算定額		
⑨	補助対象実額 (F)	他の補助金等の額 (G)
	(3,502,632 円 - 500,000円) × 2/3 - 1,206,000 円 = 795,755 円	
	※上限1,200万円	
	補助金申請額・算定額 (H)	= 795,000 円
	(千円未満切り捨て)	

書き方の解説

⑥	<p>上記に係る共通費・諸経費・値引きなど【E】</p> <ul style="list-style-type: none">・式(B×D/C)のとおり計算した金額を記載してください。・1円未満の端数は切り捨てとしてください。 <p>補助対象実額【F】</p> <ul style="list-style-type: none">・式(D+E)のとおり計算した金額を記載してください。
⑦	<p>被災住宅関連支援事業に係る補助金などの額</p> <ul style="list-style-type: none">・これまでに活用されている、下記の制度の支援などの額を記載してください。 <p>【ア】災害救助法に規定する住宅の応急修理(国制度) ⇒【イ】の欄に、下記のとおり計算した結果を記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none">(1)アの額が 50 万円以下の場合は、0円(2)アの額が 50 万円超の場合は、(ア - 500,000 円) <p>【ウ】新潟県被災者住宅応急修理支援制度に基づく住宅の応急修理(県制度)</p> <ul style="list-style-type: none">・これまでの活用額がご不明な場合は、相談・申請窓口にて申請状況をお調べします。
⑧	<p>他の補助金などの合計【G】</p> <ul style="list-style-type: none">・⑦の【イ】、【ウ】の合計額を記載してください。(⑦【ア】は合計しません)
⑨	<p>補助金申請額・算定額【H】</p> <ul style="list-style-type: none">・式のとおり計算してください。⇒(⑥の【F】 - 500,000) × 2/3 - ⑧の【G】(千円未満切捨て)・なお工事契約が複数ある場合で、各契約の【F】を合計した額が 1,200 万円(上限額)を超えるときは、【F】を 1,200 万円として計算してください。・この【H】の額が、補助金の申請額(算定額)となります。・1,000 円未満の端数は切り捨てとしてください。

1-2(参考) 見積書の見方

補助対象工事に要する費用は消費税を含むため、税抜き価格で表示されている場合は、消費税を考慮する必要があります。

御見積書 (参考イメージ)

令和〇年〇月〇日

柏崎 太郎 様

〒945-〇〇〇〇

柏崎市〇〇〇〇

(株)〇〇建築

代表取締役社長 〇〇 〇〇

3,630,000 円 (税込み)

TEL 〇〇-〇〇〇〇

工事名 令和6年能登半島地震で被災した 柏崎 太郎様宅 復旧工事

工

オ

カ

ウ

イ

工種(名称)	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
A	地盤沈下復旧					
A-1	材料 山砂	10	m3	30,000	300,000	運搬費共
A-2	転圧・整地	20	m2	5,000	100,000	
A-3	機械器具損料	1	式	90,000	90,000	
A-4	機械器具運搬費	1	式	60,000	60,000	
	A 計				550,000	
B	傾斜修復(ジャッキアップ)					
B-1	基礎下地盤掘削	20	箇所	23,000	460,000	外周
B-2	支持杭圧入	20	箇所	50,000	1,000,000	支持層まで
B-3	本受けジャッキ設置	20	箇所	15,000	300,000	
B-4	躯体修正	40	m2	7,000	280,000	
B-5	定着モルタル打設	20	箇所	6,000	120,000	
B-6	機械器具損料	1	式	40,000	40,000	
	B 計				2,200,000	
C	居間壁紙補修					
C-1	壁紙張替	6	m2	15,000	90,000	
C-2	クラック補修	2	箇所	5,000	10,000	
	C 計				100,000	
	直接工事費計				2,850,000	A+B+C
	諸経費				570,000	上記、直接工事費の20% (共通仮設費、現場管理費、一般管理費等)
	値引き				-120,000	
	工事価格				3,300,000	
	消費税				330,000	上記、工事価格の10%
	工事費				3,630,000	

ア

見方の解説

【注意事項】

- ★見積書は、施工者さんにより、さまざまな形式で作られます。ここでは、前ページの参考例に基づいて解説します。
- ★ご自身がお持ちの見積書のどこが下記ア～カにあたるかご不明な場合は、相談・申請窓口に見積書をご提示しご相談ください。ただし、見積書の記載の仕方(詳細が明らかでない書き方など)により、窓口でも判断できない場合があります。
- ★なお、本補助金の対象金額は、見積書をもとに確認しますので、工事の内容や項目ごとの金額がわかるものを作成してもらってください。補助金の対象となる工事と対象とならない工事が合算されて金額が計上されている場合など、補助金対象部分が明確に計算できない場合は、補助の対象として計上できません。

ア	<p>工事費(税込)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費税も含めた工事費の総額です。 ・事業概要・補助金額算定書『工事費(税込)【A】』に記載する額です。
イ	<p>消費税</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事費(総額)に含まれる消費税の額です。
ウ	<p>諸経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業概要・補助金額算定書『うち共通費・諸経費・値引きなど【B】』に記載する額です。 ・見積を作成する方により、様々な名称が使用されます。下記の例を参考としてください。 (例:共通費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費、諸経費、値引、出精値引、特別割引など)
エ ・ オ ・ カ	<p>工事項目(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事の項目ごとに、工事の内容と金額を区分して記載したものです。 ・この例では、エ(A地盤沈下復旧)、オ(B傾斜修復)が本補助金の対象となります。 ・その合計金額を事業概要・補助金額算定書(2)補助対象工事に項目ごとに記載してください。 ・なお、この例のカ(C居間壁紙補修)は、宅地の復旧工事ではないため、本補助金の対象とはなりません。そのため、事業概要・補助金額算定書への記載や金額計上はできません。

1-3 液状化被災状況説明書 → 目次 ウ)

第3号様式（第5条、附則第3項関係）

（記載例）

柏崎市液状化被災宅地復旧支援事業 液状化被災状況説明書

①

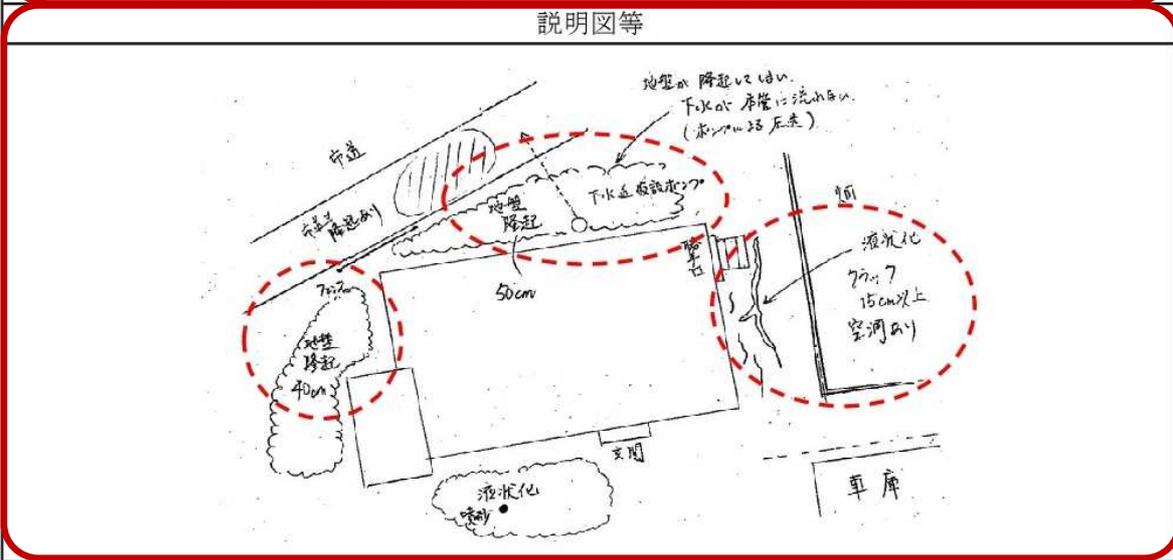
発災時の状況		
<input checked="" type="checkbox"/> 噴砂の発生	<input type="checkbox"/> のり面の破損	<input checked="" type="checkbox"/> 地盤の隆起・沈下・陥没
<input checked="" type="checkbox"/> 地割れの発生	<input type="checkbox"/> 擁壁の破損	<input type="checkbox"/> 住宅建屋の傾斜・沈下
<input checked="" type="checkbox"/> その他		

・宅地で液状化被害が発生し、宅地地盤にひび割れと段差が生じた。（幅15cm、深さ20cm）
 ・宅地地盤で隆起が発生し下水道管が破損したため、ポンプによる応急対応を実施した。
 ・液状化被害が大きい北側を中心に母屋が沈下して、生活に支障が出た。

②



③



書き方の解説

【注意事項】

- ★液状化による宅地被害がどのように発生したか、被害の状況や規模などを説明いただく資料です。
- ★既に復旧工事が終わっているなど、地震発生直後の被害状況などの写真がない場合は、復旧工事中の写真や復旧工事の痕跡など、被害状況を推測できる写真を代替で入れてください。
- ★なお、本書の写真のほか、申請書添付書類に必要となる写真(被災住宅の全景写真、対象工事にかかる写真)は別途ご用意が必要です。

①

発災時の状況

- ・地震によりどのような被害が発生したかについて、該当するものの□を黒塗りしてください。
- ・選択肢に該当しない、又はどれに該当するか不明なときは、『その他』にその状況を具体的に記述してください。
- ・宅地の前面の道路や隣接地の状況などについても、可能な範囲で『その他』にご記載ください。

②

発災時の状況写真

- ・①で□を黒塗りした被害について、カラー写真を入れてください。
- ・写真の枚数が多いなどの場合は、この用紙と別に写真を印刷していただいても構いません

③

説明図など

- ・宅地(敷地)を空から見下ろした図(配置図)として、家や前面の道路、隣家との境界などを表示し、
 - (1)宅地(敷地)のどの位置で発生したか
 - (2)地割れ、陥没など、どのような(形状の)被害が発生したか
 - (3)発生した被害の大きさはどれくらいかを記載してください。
- ・専門家が作成した図面である必要はありません。ご自身の手書きでOKです。

2-1 実績報告 → 目次 工)

第9号様式 (第10条関係)

(記載例)

柏崎市長 様

①

令和 7 年 3 月 1 日

(補助事業者)

〒 945-0000

住所

柏崎市日石町〇番〇号

②

フリガナ

カシワザキ タロウ

氏名

柏 崎 太 郎

電話番号

0257-〇〇-〇〇〇〇

柏崎市液状化被災宅地復旧支援事業 実績報告書

柏崎市液状化被災宅地復旧支援事業補助金の交付決定を受けた補助事業が完了したので、次のとおり報告します。なお、本申請書及び添付書類に記載の事項は事実と相違ありません。

記

③	交付決定番号	都第〇〇号						
	交付決定日	令和6年10月7日						
	罹災番号	1 2 3 4 5 6						
	交付決定額	795,000						円
④	交付算定額	795,000						円
⑤	補助金の振込先	下記、申請者の口座へ振り込み願います。						
		金融機関名	〇〇 <input checked="" type="checkbox"/> 銀行 <input type="checkbox"/> 信用組合 <input type="checkbox"/> 信用金庫 <input type="checkbox"/> () 〇〇〇 支店					
		預金種別	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座					
		口座番号	1	2	3	4	5	6
	口座名義 (カナ)	カシワザキ タロウ						

書き方の解説

①	提出年月日 ・書類を市に提出する日付を記載してください。								
②	申請者 ・申請者(補助金の交付を受けようとする方)の郵便番号、住所、氏名、フリガナ(カタカナで記載)、電話番号を記載してください。 ・被災したお住まいから一時的に避難している場合は、避難先である現住所をご記載ください(郵送など書類が受け取れる宛先となります)。								
③	交付決定の内容 ・交付申請書の提出後に柏崎市から送付する、「交付決定通知書」の記載内容を転記してください。 <div style="text-align: right; border: 1px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">令和6(2024)年10月7日</div> <p style="text-align: center; color: red;">柏崎 太郎 様</p> <p style="text-align: right; color: red;">柏崎市長 櫻井 雅浩 印</p> <p style="text-align: center;">柏崎市液状化被災宅地復旧支援事業補助金交付(決定・不交付)通知書</p> <p style="text-align: center; color: red;">令和6年10月1日付けで申請のあった柏崎市液状化被災宅地復旧支援事業補助金の交付について、下記のとおり決定したので通知します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px auto;"><tr><td colspan="2" style="text-align: center;">交付決定番号</td><td style="text-align: center;">都 第 〇〇 号</td></tr><tr><td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">決 定</td><td style="text-align: center;">補助金の額</td><td style="text-align: center;">金 795,000 円</td></tr><tr><td style="text-align: center;">交付条件</td><td></td></tr></table>	交付決定番号		都 第 〇〇 号	決 定	補助金の額	金 795,000 円	交付条件	
交付決定番号		都 第 〇〇 号							
決 定	補助金の額	金 795,000 円							
	交付条件								
④	交付算定額 ・実施した工事内容・金額に基づき、「事業概要・補助金額算定書」により補助金額を再算定してください(ページ6~9参照)。なお交付申請時から変更がない場合は、申請時の「事業概要・補助金額算定書」の写しでOKです。(※工事内容の大幅な変更や補助金が増額となるような変更があった場合は、予め、変更申請手続きが必要となります。その際は、相談・申請窓口までご連絡ください。) ・この金額が、最終的な補助金の申請額となります。								
⑤	補助金の振込先 ・補助金の振込先となる口座情報を記載してください。原則として申請者本人の口座名義でなければなりません。								

3 補助金交付申請兼実績報告書 → 目次 力)

第15号様式 (附則第3項関係)

(記載例)

柏崎市長 様

①

令和 6 年 10 月 1 日

(申請者)

〒 945-0000

住所

柏崎市日石町〇番〇号

②

フリガナ

カシワザキ タロウ

氏名

柏崎 太郎

電話番号

0257-〇〇-〇〇〇〇

柏崎市液状化被災宅地復旧支援事業 補助金交付申請兼実績報告書

柏崎市液状化被災宅地復旧支援事業補助金の交付を受けたいので、次のとおり申請します。なお、本申請兼実績報告書及び添付書類に記載の事項は事実と相違ありません。

記

③	罹災証明書から転記	罹災番号	123456						
		世帯主氏名	<input checked="" type="checkbox"/> 申請者と同じ <input type="checkbox"/> 申請者と異なる → (氏名)						
		被災住家所在地	柏崎市日石町〇番〇号						
		住家の被害の程度	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 半壊	<input checked="" type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 準半壊	<input type="checkbox"/> 中規模半壊 <input type="checkbox"/> 一部損壊				
		被災物件の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 専用住宅 <input type="checkbox"/> 併用住宅(店舗、事務所などを併設)						
④	被災住宅の建て方	<input checked="" type="checkbox"/> 戸建住宅 <input type="checkbox"/> 多世帯住宅 <input type="checkbox"/> 分譲マンション							
⑤	申請者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 被災住宅(分譲マンションを除く)の居住者 <input type="checkbox"/> 被災住宅(分譲マンションを除く)の居住者の扶養義務者等 <input type="checkbox"/> 被災宅地の所有者 <input type="checkbox"/> 被災住宅(分譲マンション)の管理組合等							
⑥	被災宅地の所有者	<input checked="" type="checkbox"/> 申請者と同じ (住所) <input type="checkbox"/> 申請者と異なる → (氏名)							
⑦	工事期間	着手日:	令和 6 年	5 月	1 日				
		完了日:	令和 6 年	5 月	31 日				
⑧	補助対象要件に関する確認	<input checked="" type="checkbox"/> 被災住宅は賃貸住宅又は企業の寮・社宅等ではありません。 <input checked="" type="checkbox"/> 被災宅地等は令和6年能登半島地震により液状化による被害を受けました。 <input checked="" type="checkbox"/> 過去に本補助金を受けた被災宅地等ではありません。 <input checked="" type="checkbox"/> 申請内容は、要綱に定める各条項に適合します。							
	確認事項	<input checked="" type="checkbox"/> 本人及びその世帯に暴力団員又は暴力団等と関係を有する者はいません。また、必要に応じて、市が警察に照会する場合は、別途必要な書類を提出します。							
⑨	補助金申請額	795,000 円							
⑩	補助金振込先	金融機関名	〇〇 <input checked="" type="checkbox"/> 銀行 <input type="checkbox"/> 信用組合 <input type="checkbox"/> 信用金庫 <input type="checkbox"/> () 〇〇〇 支店						
		預金種別	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座						
		口座番号	1	2	3	4	5	6	7
		口座名義(カナ)	カシワザキ タロウ						

書き方の解説

① 提出年月日

・書類を市に提出する日付を記載してください。

② 申請者

- ・申請者(補助金の交付を受けようとする方)の郵便番号、住所、氏名、フリガナ(カタカナで記載)、電話番号を記載してください。
- ・被災したお住まいから一時的に避難している場合は、避難先である現住所をご記載ください(郵送など書類が受け取れる宛先となります)。

③ リ災番号など以下を参考に、リ災証明書から転記してください。

り災証明書

123456 令和〇年〇月〇日	
世帯主住所	新潟県柏崎市日石町〇番〇号
世帯主氏名	柏崎 太郎
追加記載事項①	被災者区分：物件居住者
被災住家の所在地	<p>世帯主氏名 →申請する方と世帯主が異なる場合は、「申請者と異なる」の口を黒塗りし、この欄の世帯主氏名を転記してください。</p>
罹災原因	令和6年(2024年)石川県能登地震 による
被災住家*の所在地	柏崎市日石町〇番〇号
住家*の被害の程度	大規模半壊
追加記載事項②	被災物件種別：専用住宅
<small>※住家とは、現実に居住(世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。)のために使用している建物のこと。 (被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家)</small>	
追加記載事項③	
被災物件の種別	

上記のとおり、相違ないことを証明します。

令和〇年〇月〇日

柏崎市長 櫻井 雅浩 

3 補助金交付申請兼実績報告書のつづき

第15号様式 (附則第3項関係)

(記載例)

柏崎市長 様

① 令和 6 年 10 月 1 日

(申請者)

〒 945-0000

住所

柏崎市日石町〇番〇号

②

フリガナ

カシワザキ タロウ

氏名

柏崎 太郎

電話番号

0257-〇〇-〇〇〇〇

柏崎市液状化被災宅地復旧支援事業 補助金交付申請兼実績報告書

柏崎市液状化被災宅地復旧支援事業補助金の交付を受けたいので、次のとおり申請します。なお、本申請兼実績報告書及び添付書類に記載の事項は事実と相違ありません。

記

③	罹災証明書から転記	罹災番号	123456						
		世帯主氏名	<input checked="" type="checkbox"/> 申請者と同じ <input type="checkbox"/> 申請者と異なる → (氏名)						
		被災住家所在地	柏崎市日石町〇番〇号						
		住家の被害の程度	<input type="checkbox"/> 全壊	<input checked="" type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 中規模半壊				
			<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 準半壊	<input type="checkbox"/> 一部損壊				
	被災物件の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 専用住宅	<input type="checkbox"/> 併用住宅(店舗、事務所などを併設)						
④	被災住宅の建て方	<input checked="" type="checkbox"/> 戸建住宅	<input type="checkbox"/> 多世帯住宅	<input type="checkbox"/> 長屋					
		<input type="checkbox"/> 分譲マンション							
⑤	申請者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 被災住宅(分譲マンションを除く)の居住者 <input type="checkbox"/> 被災住宅(分譲マンションを除く)の居住者の扶養義務者等 <input type="checkbox"/> 被災宅地の所有者 <input type="checkbox"/> 被災住宅(分譲マンション)の管理組合等							
⑥	被災宅地の所有者	<input checked="" type="checkbox"/> 申請者と同じ (住所) <input type="checkbox"/> 申請者と異なる → (氏名)							
⑦	工事期間	着手日:	令和 6 年	5 月	1 日				
		完了日:	令和 6 年	5 月	31 日				
⑧	補助対象要件に関する確認	<input checked="" type="checkbox"/> 被災住宅は賃貸住宅又は企業の寮・社宅等ではありません。 <input checked="" type="checkbox"/> 被災宅地等は令和6年能登半島地震により液状化による被害を受けました。 <input checked="" type="checkbox"/> 過去に本補助金を受けた被災宅地等ではありません。 <input checked="" type="checkbox"/> 申請内容は、要綱に定める各条項に適合します。							
	確認事項	<input checked="" type="checkbox"/> 本人及びその世帯に暴力団員又は暴力団等と関係を有する者はいません。また、必要に応じて、市が警察に照会する場合は、別途必要な書類を提出します。							
⑨	補助金申請額	795,000 円							
⑩	補助金振込先	金融機関名	〇〇	<input checked="" type="checkbox"/> 銀行	<input type="checkbox"/> 信用組合				
			〇〇〇	<input type="checkbox"/> 信用金庫	<input type="checkbox"/> ()				
				支店					
		預金種別	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 当座					
	口座番号	1	2	3	4	5	6	7	
	口座名義(カナ)	カシワザキ タロウ							

書き方の解説

④	被災住宅の建て方 ・手引き2ページ(本支援制度における住宅の定義のア・ウ・エ・オ)を参照し、該当するものの口を黒塗りしてください。
⑤	申請者の区分 ・手引き2ページ(申請の要件②対象となる者)を参照し、該当するものの口を黒塗りしてください。
⑥	被災宅地の所有者 ・申請される方と宅地(土地)の所有者が異なる場合は、その所有者の方の住所・氏名を記載してください。またその場合、添付書類として、その土地を所有する方の同意書が必要となります。
⑦	工事期間 ・工事に着手した日、完了した日の日付を記載してください。
⑧	補助対象要件に関する確認・確認事項 ・本補助金の対象となる条件のうち主要なものを記載しています。 ・ひとつでも適合しないものがある場合は、補助金の対象になりません。
⑨	補助金申請額 ・手引き5ページ及び本書9ページ(1-2. 事業概要・補助金額算定書⑨【H】)を参照し、算出した補助金申請額を記載してください。
⑩	補助金の振込先 ・補助金の振込先となる口座情報を記載してください。原則として申請者本人の口座名義でなければなりません。